

BANZAI NEWS

2021
Summer
319

定評あるバイスバース・マイクロライン
光学式「イージー・3D」がバージョンアップ!

マイクロライン EASY3D-PLUS



加速する ASV 対応に向けて、
より迅速・高精度アライメント測定で
トータルエイミングをサポート!



- プログラムの刷新で画面レイアウトがより見やすく!
- センサーカメラの解像度アップ、ターゲット形状の変更で、より正確で迅速な測定が可能!
- マグネットクランプの採用でターゲットの取付けが容易に!
- 水準器付きターゲットで取付けもより簡単に。
- ランナウト補正と測定は車両を前後に移動させるだけでスムーズに完了。

特集 BANZAI NEWS

DXで新型コロナウイルス
感染拡大防止、業務効率化(その1)
オンラインで顧客とつながる

BANZAI 株式会社 バンザイ

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

海外販売部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6894

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市中区千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪府市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松
●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本
●販売会社 バンザイ九州販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)

<https://www.banzai.co.jp>



ISO9001-ISO14001
自動車整備用検査装置の設計開発販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。



宮古島 八重干瀬 沖縄県宮古島

沖縄の夏空の下、紺青色に染めたような宮古島の海。はるか沖あいに広がる八重干瀬（やびじ）は日本最大、世界でも有数のサンゴ礁です。周囲25キロにも及ぶ美しいサンゴと色とりどりの亜熱帯の魚たち。ダイバーたちにも人気のスポットです。

★歳時記

- 7月 7日 七夕
- 22日 海の日
- 23日 スポーツの日
- 8月 6日 広島平和記念日
- 7日 立秋
- 8日 山の日
- 9日 長崎平和記念日
- 9月 20日 敬老の日
- 23日 秋分の日



●目次

- ★特集 コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか？
DXで新型コロナウイルス感染拡大防止、業務効率化(その1)
オンラインで顧客とつながる…………… ①
- ★モデルショップ訪問【広島ヨベット株式会社 福山サービスセンター】… ⑥
全社の営業力強化と拠点サポートに向けて
最新設備で作業の効率化、環境改善を実現
- ★モデルショップ訪問【広島日野自動車株式会社 呉支店】…… ⑧
大型車サービスの環境改善へ向けて
独自の発想で、作業の安心・安全を推進
- ★ショールーム…………… ⑩
- ★EPOCH<海外情報>インドネシア…………… ⑭
- ★ロータリー…………… ⑯
- ★BANZAIガイド…………… ⑰

特集 BANZAI NEWS

コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか？

第2回

DXで新型コロナウイルス 感染拡大防止、業務効率化(その1) オンラインで顧客とつながる



新型コロナウイルスの感染拡大によって、自動車業界を含む人々の生活様式とビジネスのあり方は一変。従来より進行していた「100年に一度の大変革」も急加速しました。

その中でサービスショップの皆さんが生き残るには、感染拡大防止策を自社の収益アップとES(従業員満足)・CS(顧客満足)向上＝「ハッピートライアングル」の形成につなげる必要があります。

当新連載「コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか?」、2回目の今回は、リアル店舗・工場への新型コロナウイルス感染拡大防止策を終えた後の次なるステップとして、DX(デジタルトランスフォーメーション)によるCS向上と業務効率化について考えたいと思います。

まずは手軽に利用できる ホームページ、メール、 SNS対応とリモート商談で感染防止、 業務効率化

今回は、コロナ禍中においても避け得ない、お客様や従業員同士の対面接触にどう対処するかを考えました。とはいえ、IT(情報通信技術)を積極的に活用することで、サービスショップの皆様がお客様と直接対面せずとも行える業務は存在します。

その一つが、車両販売時の接客・商談です。お客様から同意を得てメールアドレスをお教えいただいたうえで、ZoomやGoogle Meet、Microsoft TeamsなどのWeb会議サービスやその他専用ツールを使用すれば、お客様にお店へお越しただかずとも、また営業スタッフがお店におらず外出先でも、リモートで商品説明や見積書の作成などが可能になります。

無論、購入検討車種の試乗や下取車の査定、実印が必要な書類をやり取りする際には、直接対面しての接客が欠かせません。ですが、それら以外で積極的に活用すれば、営業活動の大半を占める「移動」の時間とコストを大幅に削減できるのは間違いありません。

こうしたWeb会議サービスはコロナ禍を契機として急激に普及したため、業務で利用したことがない人にとってはまだまだ馴染みが薄いことと思われます。とはいえ、コロナ禍以前より広く普及しており、より多くの用途に活用できる、ホームページやメール、SNSも果たしてどれだけ役立てられているでしょうか？

高齢者を中心としたパソコンやスマートフォンが苦手な人には、対面での接客や電話、FAX、チラシ、紙のダイレクトメール(DM)といった昔ながらのアナログな手法が有効です。いやむしろ、新型コロナウイルスワクチン接種予約手続の動向を見ても、今なお必要不可欠といえるでしょう。

しかしながら、パソコンやスマートフォンを使いこなせSNSも日常的に使用している層にとって、これらアナログな手法は非合理的なことの上ありません。加えて、対面での接客や電話といった会話でのコミュニケーションを苦手とし敬遠する人は、主に若者に多い傾向にあります。つまり、ホームページやメール、SNSを運用すらしていないサービスショップは、今やこうしたお客様と接触すること自体が不可能に近くなったと言っても過言ではありません。

ですから、お客様向けのホームページやメール、SNSアカウントをまだ用意できていないサービスショップの皆様は、今すぐにも整える必要があります。そのうえで、「totoco(とっこ)」などのWeb在庫予約システムや、来店車両のナンバーを即座にキャッチし店内に知らせる「来店表示システム」などを導入し、整備システムや顧客管理システムと連動させれば、多忙なお客様や会話が苦手なお客様でも24時間365日いつでも手軽に在庫予約が可能になります。

そしてサービスショップの皆様は、営業時間外でも予約受付が可能になり、受付完了を知らせるメールも自動で返信。スタッフの電話対応も激減し、お客様に対しよりタイムリーできめ細かな接客・サービスを提供できるようになります。

CS向上のみならず業務効率化によるES向上や

コスト削減、収益向上にも寄与するこれらのシステムは、バンザイで取り扱っておりますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

コネクテッド技術を どうDXに活用すべきか？

さて、ここまでは従来のIT化の一環と言えるでしょうが、近年政府からもその重要性がしばしば語られる「DX」(デジタルトランスフォーメーション)とは一体何でしょうか？ 経済産業省「デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会」中間取りまとめでは、IDC Japanによる以下の定義を引用しています。「企業が外部エコシステム(顧客、市場)の破壊的な

変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、従業員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアル両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること」

自動車業界においては、コネクテッド技術がそのカギの一つと言えるでしょう。携帯電話や車載通信機を介して車載コンピューターやナビゲーションと自動車メーカーのサーバーとを接続し、様々なドライブ情報やメンテナンスデータ、緊急時対応など各種サービスを集積・提供するこの技術は、日本においてはすでに20年以上の歴史があります。しかしながら、本格的

整備工場の女性フロントスタッフが考えた【在庫管理】と【ネット予約】を一元化!
totoco
簡単だ くせになるほど
087-867-6868 または http://totoco.biz

車検ネット予約管理サービス「totoco(とっこ)」

お客様のメリット
ホームページで予約が完了! シンプル入力でカンタン予約! 24時間365日予約OK!
時間指定も可能! 車検見積もりシミュレーションが出来る ¥00,000 100%スマホ対応
満足度UP → 集客率UP
導入店のメリット
営業時間外でも予約が入る!! オプション設定で単価UP! 自動返信メールで手間なし
フロント業務軽減! 現在お使いの顧客管理システムと連動可能で簡単便利! 在庫車両の状況が管理できる
経費削減 & 売上UP

「totoco(とっこ)」導入はお客様とサービスショップ双方に数多くのメリットがある

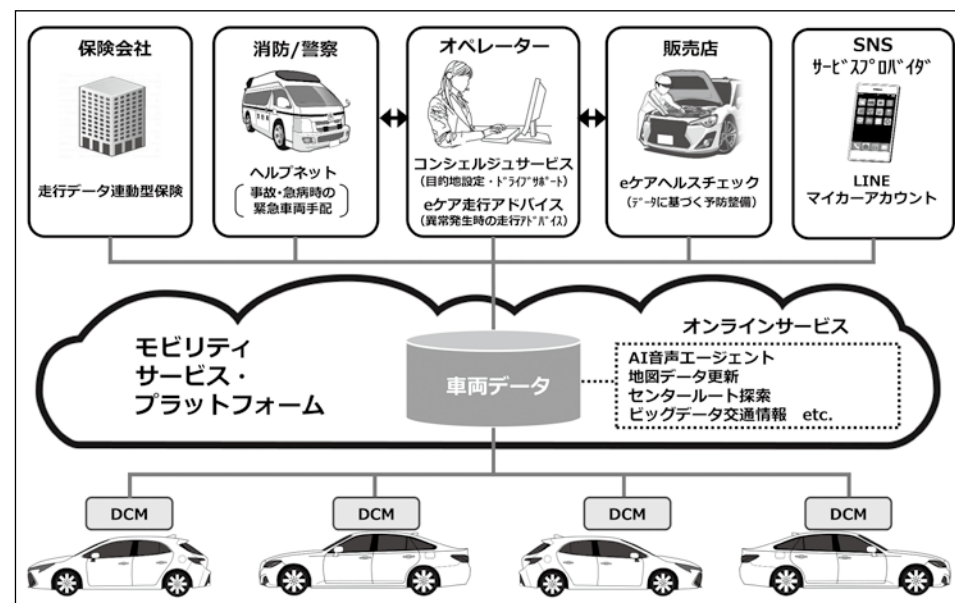
に普及し始めたのは2018年以降のことです。

このコネクテッド技術で情報やサービスをやり取りするのは、お客様と自動車メーカーだけではありません。クルマの点検整備・修理などアフターサービスに関わるものは、ディーラーの皆さんにもたらされます。

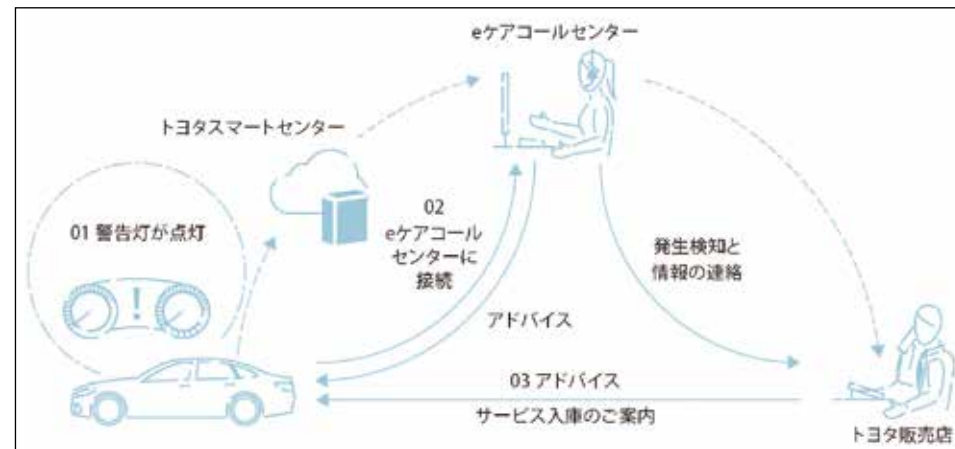
その内容は、車検証情報から定期点検時期やリコールの実施を通知するもの、車両の状態から消耗品の交換時期を検知・通知するもの、警告灯点灯時にその詳細を確認できるもの、そして事故や盗難、故

障など重大なトラブルが発生した時に自動または手動で通報し、迅速に対策を講じられるものなど様々で、クルマのメーカー・ブランド・車種によっても異なります。

ともあれ、これらの情報を入庫、場合によっては代替促進のため積極的に活用すべきなのは言うまでもありません。それどころかこれらの情報、とりわけ事故や故障が通知された際にいち早く対応しなければ、かえってお客様からの信頼を失いかねないでしょう。その点においてコネクテッド技術は諸刃の剣と言え



トヨタのコネクテッドカー向け情報インフラ「モビリティサービス・プラットフォーム」のシステム概要と提供サービス



警告灯点灯時にオペレーターへ接続、アドバイスし、必要に応じてディーラーへの入庫を案内する、トヨタ「eケア(走行アドバイス)」のサービス提供スキーム



「LINKDrive PRO」で可能となるコネクテッドカーサービスのイメージ



「LINKDrive PRO」のデータ収集およびサービス提供スキーム

ますが、だからこそお客様と自社双方の行動変革を強く促し、競争上の優位性を確立する「DX」のカギとなるのです。

そんなコネクテッド技術ですが、新車装着される車種のオーナーでなくとも、またディーラー以外の皆様でも、この技術を活用できないわけではありません。バンザイが扱う「LINKDrive PRO」を導入いただき、お客様のクルマのOBDポートにLINKDriveコネクタを装着して、ご自身のスマートフォンに専用アプリをインストールしていただければ、車両・走行データをリアルタイムで収集し、不具合の検知や点検・消耗品交換時期の通知が可能になります。さらにご導入いただいた企業様では、独自に走行距離に応じたポイ

ントやクーポンによる多彩なサービスの提供などにも活用できます。

今回は、DXをどう安全・快適・高収益な職場づくりにつなげるかを、考えてみたいと思います。

全社の営業力強化と拠点サポートに向けて 最新設備で作業の効率化、環境改善を実現

広島県内に新車・中古車の販売拠点として32店舗を展開する広島トヨペット株式会社では、県東部のサービスセンターとして「PiVOTA松永」を開業。車検整備、車体整備などのサービスの集約化および最新設備による作業環境を実現されています。



車検・一般整備と車体整備を集約化したサービスセンターの外観



中古車のリフレッシュや、商品化を集約化した中古車商品化棟



工場入口側が車検・一般整備部門、写真奥が車体整備部門



PiVOTA事業部
部長
水島 賢二 氏



福山サービスセンター
センター長
藤井 和敏 氏

拠点の効率化に向けてサービスを集約化

今回、センター工場を計画されたのは車検・一般整備、板金塗装、中古車の商品化など、「サービスを集約化することにより、各店舗の業務効率化をサポートし、全社での営業力向上を図ることが目的です」とPiVOTA事業部部長の水島賢二氏。「PiVOTA」は「Pivot=要、軸」からのネーミングで、文字通り各拠点のサービスの中心としての役割を担うものです。

福山市の西部、松永に完成した新サービスセンターは、東は岡山県境まで、西は尾道、三原、竹原までのエリアのほぼ中央に位置し、拠点約10店舗のサービスに対応。山陽自動車道、国道2号・松永道路など各方面へのアクセスも良好です。約8,700平方メートルの敷地に、板金塗装・車検整備棟に加え中古車の商品化棟を併せ、延床面積は2,400平方メートルとなっています。

効率化、環境改善へ最新設備を導入

板金塗装部門は車体修正工程にスーパーフロアレールシステムを3基とベンチ式修正システムを1基導入し、あらゆる車体修正に対応。また下地処理工程から塗装まで、車両をスライドパレットで横移動できるレールシステムを、工場の両側に2レーン敷設しています。レーンごとに塗装ブースを各1基設備し、吊り下げ式乾燥装置により作業の円滑化を図り、併せて床面集塵装置により粉塵の飛散を防止しています。

整備部門は10ストールと検査ラインとなっており、イーグルNXリフト、ワークステージリフト、キャタピラツインIIリフトが各1基、ゲートリフトIIIが4基を設備し、幅広い車種の車検・一般整備に対応しています。



車検整備の6ストールにはイーグルNX、キャタピラツインII・ミニを各1基、ゲートリフトIIIを4基導入



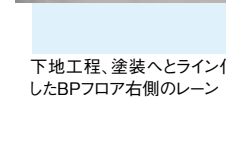
クイック、一般整備にワークステージXが1基



トリプルテスターを導入した検査ライン



車体修正から下地、塗装へと流れるBPフロア左側のレーン



下地工程、塗装へとライン化したBPフロア右側のレーン



門型洗車機「エminentデルタ」で高品質洗車を実現



中古車商品化の付加価値アップに、ターンテーブル付きの撮影室も完備

より良い品質の提供へ、技術向上に取り組む

「従来のボデーショップは狭く、効率も良くなかったため、新工場では作業効率の改善と同時に、より良い品質の提供ができる環境にしたいというのが設備の狙いです」と福山サービスセンター長の藤井和敏氏。作業の効率化の一方、冷暖房装置の導入など快適な作業環境を実現されています。また環境面の取り組みとして水性塗料化の推進も課題とされ、「早い段階で水性化100%を実現したいと考えています」（水島部長）とのこと。こうした環境改善対策や効率化の実現によりエンジニアの負担軽減や、高度化する車両に対応する技術面のレベルアップにもつなげたいとのこと。同社では本年の経営戦略として全社での営業力強化に向け、様々な施策を展開していますが、こうした戦略の一環を担う新・サービスセンターの役割が期待されています。



レール&スライドパレットで塗装ブースへの移動も容易

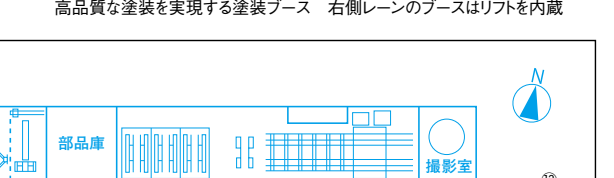


スーパーフロアレールは3ストールに設備



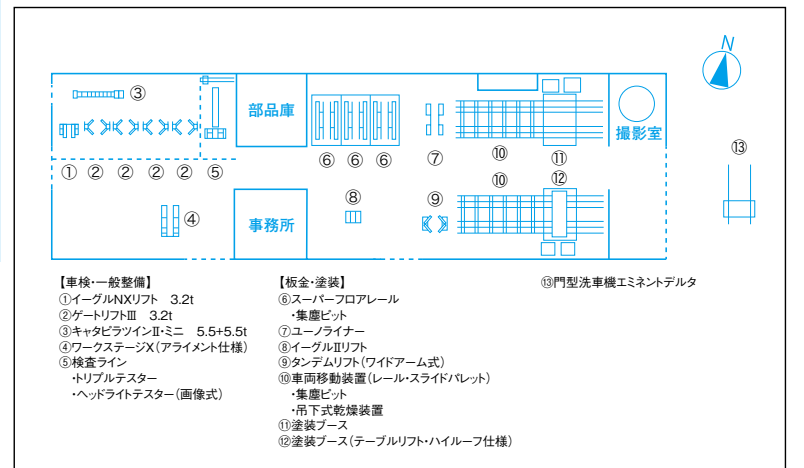
ベンチ式修正機「ユーノライナー」で多様な修復を可能に

左奥の赤い壁面が調色室



高品質な塗装を実現する塗装ブース

右側レーンのブースはリフトを内蔵



大型車サービスの環境改善へ向けて 独自の発想で、作業の安心・安全を推進

広島県内に10店舗、2工場を展開する広島日野自動車株式会社では、このたび呉支店を移転・新築し、車検、一般整備をはじめ板金・塗装まで幅広いサービスに対応し、作業の効率化や安心・安全、快適な作業環境を実現した最新工場を完成させました。



県道に面した呉支店の外観



車検・一般整備棟から写真奥の洗車棟、板金塗装棟までを効率的に配置



左側に事務所棟、右に車検・一般整備棟をレイアウト



取締役 兼 黒瀬TCセンター長
部長 藤光 哲朗 氏



支店長
河合 亮臣 氏



工場長
中向井 明慶 氏

作業の流れ、効率的レイアウトを追求

今回の移転・新築計画は従来市内の広徳丸町にあった呉支店の店舗・工場周辺の宅地化など立地環境の変化などにもなるもので、お客様にも利便性の高い立地と併せて最新設備の導入による効率化と作業環境の改善、作業者の安全の確保を大きな目的としたものです。

呉市内阿賀南の新店舗は東広島・呉自動車道の阿賀ICから南へ3分の海岸沿いに位置し、呉市街、東広島市方面はもとより、江田島など島しょ部へのアクセスも良好な立地です。新店舗は県道に面した細長い敷地のため、「いかに効率的な工場レイアウトとするかが最大のポイントでした」と取締役・本社サービス部部長、藤光哲朗氏。車検整備、検査、洗車、塗装という作業の流れをいかにスムーズにするかを課題とされたそうです。

省力化、作業環境の改善に独自のノウハウ

新・呉支店は店舗入口の左右に事務所棟と車検・一般整備棟を配置し、検査ライン、洗車場棟、板金塗装棟と、実際の作業の流れに沿ったレイアウトになっています。

車検・一般整備棟は7ストールにフロアリフトを2基、キャタピラツインエースを5基導入し、車検、クイック整備から重整備まであらゆるサービスに対応しています。

とくにフロアリフトは広島日野自動車独自のノウハウにより昭和50年に第一号機を導入して以来、作業の効率化、省力化の切り札として各拠点に展開しており、同支店においては2基を連続したピットに設置しています。

検査ラインには検査の効率化、迅速化を実現するネットワークシステムを導入。また洗車場には楽な姿勢で洗車ができるよう中央と左右にピットを設備しています。



2ストールにフロアリフトを導入、ピットは一体として作業性を向上



ワイヤー式と光電式、つま先の挟み込み防止の3重の安全装置を増備



ピット内にも移動式クーラーを設備



左側2ストールにキャタピラツインII、右側2ストールは折畳み式キャタピラツインエースを導入



電動リモコン式受台付きのキャタピラツインII



折畳み式キャタピラツインエース



ストール内は大風量のクーラーで快適な作業環境に



検査ラインにはネットワークシステムを導入、ピットにはフロアリフトを設備

作業者の安心、安全を最優先の課題に

これら効率化設備とともに同支店で重視されたのは安全・快適な作業を実現するための環境設備です。真空装置による廃油、廃LLC、ブレーキダストの回収システムの導入により、清潔で快適な作業環境を実現。また冷暖房装置の導入により快適な作業環境を実現されています。

一方、これら作業環境面とともに「作業者の安全、安心が最優先の課題」とされ、ピット内での作業となるフロアリフトには3重の安全装置を装備するなど安全対策を充実、またレーンカメラの設置による作業の進行管理、安全管理も徹底されています。

同社ではかねてより外国人研修生の採用も含め人材の確保・育成を積極的に推進されており、これら働きやすい環境整備によりサービスの未来展望につなげたいと期待されています。



各ストールから真空装置で廃油、廃LLC、ブレーキダストを回収



ストールの各所にブレーキダスト回収のノズルを設備



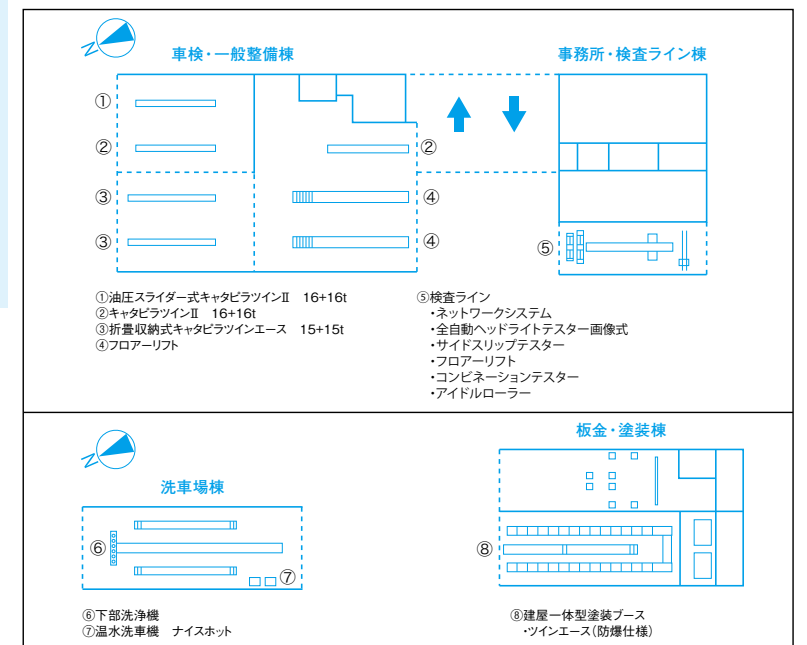
廃油もワンタッチで回収、効率化と清潔な環境に貢献



洗車場、楽な姿勢で作業できるように左右にもピットを設備



板金ストールと建屋一体型の塗装ブース



SHOW ROOM

【光学式ホイールアライメントテスター】マイクロライン ML-EASY3D-PLUS

プログラムの刷新とセンサーカメラの解像度アップで光学式「イージー・3D」がバージョンアップ!

- プログラムの刷新で画面レイアウトがより見やすく!
- センサーカメラの解像度アップ、ターゲット形状の変更で、より正確で迅速な測定が可能!
- マグネットクランプの採用でターゲットの取付けが容易に!
- 水準器付きターゲットで取付けもより簡単に
- ランナウト補正と測定は車両を前後に移動させるだけでスムーズに完了



仕様

型式		ML-EASY3D-PLUS
対象車種	軽四輪～普通乗用車	
測定方式	光学式	
測定方法	ローリングランナウト	
寸法(mm)	センサー	W320× D630× H130 (1個)
	キャビネット	W610× D660× H1,200
重量(kg)	センサー	約 9.3 (1個)
	キャビネット	約 110
使用電源(V)	AC 100	
測定項目	トー(トータル・個別)、キャンバー、キャスト キングピン、T.O.O.T、最大切れ角、スラスト アングル	

【高圧温水洗浄機】ナイスホットシリーズ NHW-1500IV/NHW-2000IV

噴射圧が任意に調整できるボリュームを装備
インバータ内蔵ナイスホットで快適・省エネ洗車を実現!

- インバータ周波数をボリュームダイヤルで無段階に設定が可能
- 洗車箇所、用途に応じて洗浄ガンの噴射圧(噴射量)を任意に調整可能
- 最適な噴射圧で節水・節電、快適エコ洗車を実現



調圧ボリューム
操作イメージ



▲動画はこちら

調圧ボリューム

仕様

型式		NHW-2000IV
吐出温度(°C)	常温～80	
吐出量(L/h)	約 2,000	
吐出圧(MPa)	約 8(1～8にて調整可能)	
給水量(L/h)	2,400以上	
本体寸法(mm)	W1,315× D730× H1,145	
本体重量(kg)	約 240	



SHOW ROOM

【バッテリー充電器】ポータブル充電器 SC-1000BZ

幅広いバッテリータイプに対応、コンパクト&高性能なポータブル充電器

- 様々なバッテリータイプの充電に対応
- 12V/24Vそれぞれ4段階の電流値設定が可能
- バッテリーの状況に合わせて4種のモードで充電が可能
 - ①ノーマルモード:通常時の充電モード(12V、24V充電)
 - ②スノーモード:気温が0°C以下の時の充電モード(12、24V充電)
 - ③ブーストモード:バッテリーが過度な放電状態の時の充電モード(12V充電)
 - ④リチウムイオンバッテリーモード:リチウムイオンバッテリー専用モード(12V充電)
- 8つの保護機能でショートや過充電を防止
 - ・短絡保護・過熱保護・スパーク保護・過充電保護
 - ・過電圧保護・逆極性保護・保護切断・過電流保護

仕様

型式	SC-1000BZ
本体寸法(mm)	W197× D113× H61
モニターサイズ(in)	3.5 LCD
重量(kg)	約 1
充電可能タイプ	ウェット、メンテナンスフリー、ドライ、 ゲル、リチウムイオン
充電能力(A)	12V: 1、3、7、10 24V: 1、2、4、6 リチウムイオン(12V): 5、10



【大型車両ISOホイールナット緩み確認用インジケーター脱着ツール】プッシュル33 PUSH-LL33

大型車両のナット緩み確認用インジケーターの
簡単・確実な脱着が可能!

国交省の新たな点検方法見直し案内の中で、大型車両のISO規格ホイールに導入がすすむ、ナット緩み確認用インジケーター(ナットマーカ、チェックポイント)の脱着がひとつのツールで簡単に行えます。

- ISOホイール(アルミ・スチール)22.5/19.5インチ用
- CP33チェックポイント/CL33チェックリンク専用
- 握る・押す・引く、簡単な作業で脱着が簡単に
- 樹脂製でアルミホイールを傷つける心配がありません。

<CP33着脱>



取り付け



取り外し

<CL33着脱>



3つの操作で着脱OK!

プッシュル
紹介動画



▲動画はこちら

SHOW ROOM

【大型車用2柱リフト】同調式キャタピラツインII WSL-CT322Z(FK)

固定・移動リフトの高さを同調、安定したリフトアップ/ダウンが可能に!

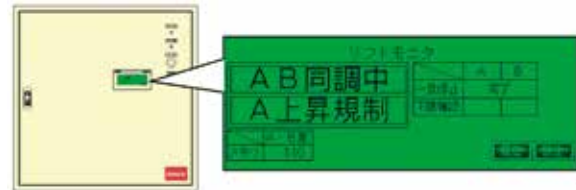
固定リフト・移動リフトの連動昇降時、車両の重量配分によって差が生じる場合に先行するリフトを停止させ、遅れているリフトを待ち、遅れているリフトが追いつくと、停止していたリフトが再度昇降を開始することで、車両の傾きを少なくでき、安全に昇降することが可能です。

<本体>

- 車両の重量配分による固定リフト・移動リフトの傾きを最小限に
- 先行するリフトを停止し、高さを揃えて連動昇降
- フリーホイール高さでの一旦自動停止が可能(停止高さは設定可能)

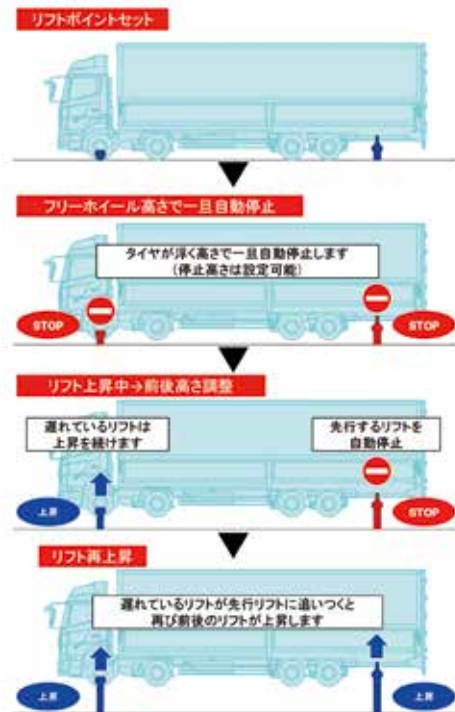
<タッチパネル>

- タッチパネルを標準装備、異常発生時には異常内容を表示。異常履歴も残ります



<作動イメージ図>

- ①受金をリフトポイントにセット
- ②フリーホイール高さで一旦自動停止
- ③先行するリフトを自動停止
- ④遅れているリフトが追いつくの待ち、再度前後のリフトを上昇



■仕様

型式	WSL-CT322Z(FK)	
能力(t)	16+16	
揚程(mm)	1,500	
リフト間距離(mm)	min2,400~ max9,000	
油圧用モーター(kW)	2.2×2	
移動用モーター(kW)	0.4	
動力源	電源(V, A)	AC200 3相 32以上
	エア(MPa)	0.5~0.7
高さ検出	エンコーダー方式	

※FKはフラットキット付き

SHOW ROOM

【大型車用2柱リフト】LED照明内蔵型キャタピラツインII WSL-CT322UL/WSL-CT322UL(FK)

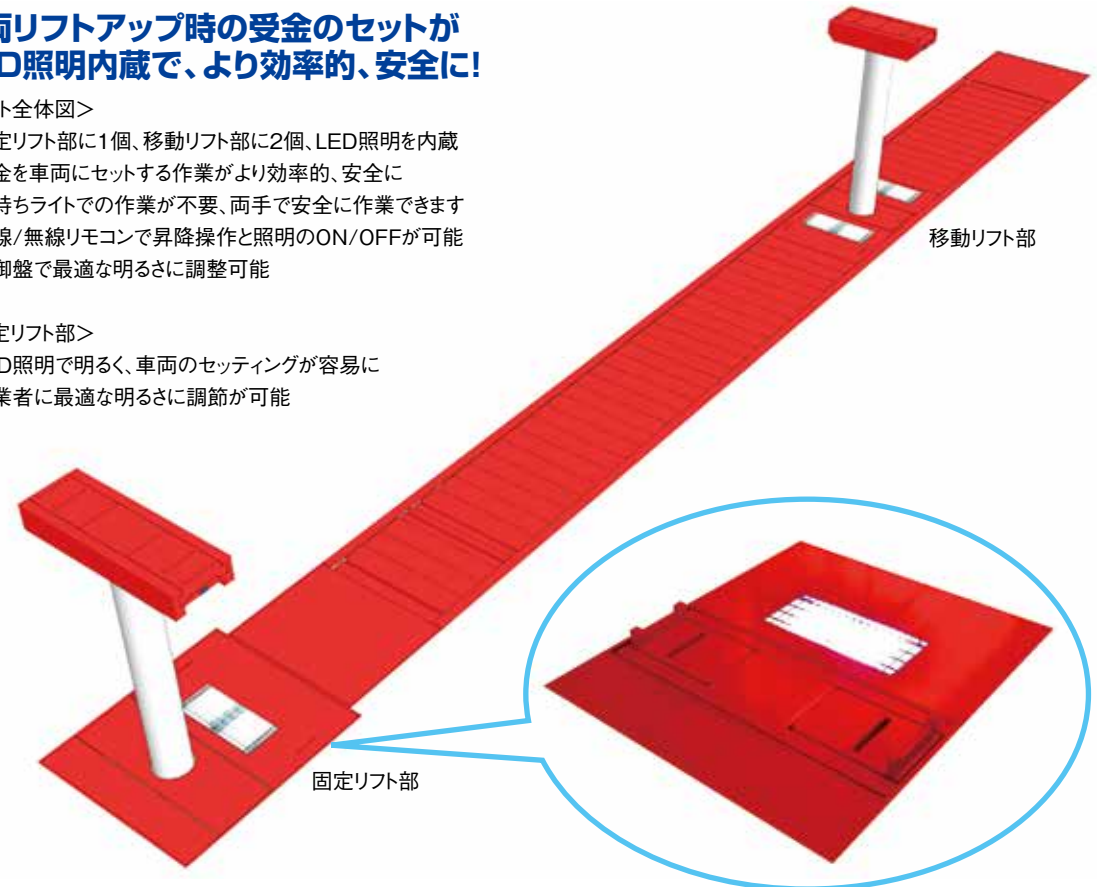
車両リフトアップ時の受金のセットがLED照明内蔵で、より効率的、安全に!

<リフト全体図>

- 固定リフト部に1個、移動リフト部に2個、LED照明を内蔵
- 受金を車両にセットする作業がより効率的、安全に
- 手持ちライトでの作業が不要、両手で安全に作業できます
- 有線/無線リモコンで昇降操作と照明のON/OFFが可能
- 制御盤で最適な明るさに調整可能

<固定リフト部>

- LED照明で明るく、車両のセッティングが容易に
- 作業者に最適な明るさに調節が可能



<LED照明OFF>



<LED照明ON>



<LED照明用制御盤>

- マグネット付きで、リフト用制御盤に簡単に固定出来ます



■仕様

型式	WSL-CT322UL(FK)
リフト用制御盤サイズ(mm)	W600×L600×H200
LED照明消費電力	36W(1ユニット当たり)
照明ユニット数	固定リフト後 1個 移動リフト前後各 1個
照明ユニットサイズ(mm)	W520×L210×H73
照明用制御盤サイズ(mm)	W150×L250×H130

※FKはフラットキット付き
※リフト用制御盤サイズ及びLED照明以外の仕様(リフト能力など)は標準のキャタピラツインIIと同じです。



飛躍的發展を遂げるインドネシア、首都ジャカルタ市の夜景

日本の皆様、Apa Kabar? (アバカバル? = 元気ですか?)。バンザイの仙台支店・青森営業所に2006年まで約20年在籍しておりました館下です。

これもご縁か、退職後インドネシアに渡って14年が経ちました。初めはインドネシア人の妻と文化の違いにも悩まされましたが、石の上にも3年の言葉通り、今では現地での仕事も生活も満喫しています。

私は主にプラスチック成型の金型製作のマーケティングに携わっていますが、インドネシアの自動車関連工場にもバンザイ製品が多く納入され、海外販売部の依頼で自動車検査機器の校正作業や修理・設置作業のお手伝いをしている関係もあり、このたび当地の様子をご紹介しますことになりました。

インドネシアはどんな国?

インドネシアの正式な呼称はインドネシア共和国 (Republic Indonesia = RI)で、人口は2億7千万人近く、世界第4位とされています。赤道を跨いで、大小合わせて1万3千からなる島々からなり、インドネシアなじみが無い方でも、首都ジャカルタやリゾート地のバリ、ロンボクなど一度は聞いた事があると思います。

人種は基本がマレー系で、ジャワ人やスンダ人ほか、中国系では華僑と呼ばれる人々が人口の2%ほどを占め、全体では350もの人種からなる多民族国家です。

宗教ではイスラム教が8割以上、以下キリスト教、ヒンズー教、仏教などです。言語も地域によって方言があり、標準のインドネシア語が通じない地方も多くあります。もちろん民主主義国家で基本的に平和な国です。



PT.PRECIOUS INDONESIA
マーケティングアドバイザー
館下 英治



赤道をまたいで多くの島々からなるインドネシア

発展するインドネシア経済

インドネシアは世界有数の鉱物資源国で、かつては石油も重要な輸出産業でしたが、1998年の通貨危機以降は新規油田の投資に手が回らず石油輸入国に転じています。しかし、鉱物関連の生産国としては上位にあり、日本にも液化天然ガス (LPG) を大量に輸出しています。また1990年代から工業化を推進した結果、自動車、家電関連など日系だけでも1500社近くが進出し、工業製品の輸出国としての地位を固めています。

特に自動車関連ではオートバイの生産がめざましく、2011年には年間800万台に上りました



市民の足はオートバイ

が、現在は需要が一巡し600万台で推移しています。自動車生産も120万台をピークに昨年までは100万台で推移し貿易黒字に貢献しています。

昨年からのコロナの影響で現在は生産・販売とも30~40%ほど落ち込んでいますが、若年層の労働力が豊富なので、コロナ後の回復に期待がかけられています。しかしコロナ禍にあっても人口2億7千万人の内需パワーは恐ろしいほど、皆どこにお金をもっているのかと思ってしまう。



オートバイ整備の店も街のあちこちに

お祈りは時間厳守、ですが…

長年お付き合いしてきたインドネシアの人々や文化についてご紹介しましょう。

私はすでに慣れましたが、当初は戸惑うこともしばしばでした。時間を守ることにしても、日本ほど厳密ではありません。もっとも日本の考え方が几帳面すぎるのかもしれませんが…(笑)。その反面、お祈りの時間は厳守です。イスラム教ではお祈りが1日5回あり、これはよほどの事が無い限りきちんと守られます。とくに金曜日のお昼のお祈りはマスジッド (礼拝所)で行うことが成人男子の義務であり、お説教もあるので一時間くらいかかります。この時に仕事を頼むことが続いたりすると、反感を買ってしまうこともあります。

おおらかで優しいインドネシアの人々

多くの日本人駐在者も赴任の当初、彼らの性格を理解していないために戸惑うこともあります。

仕事を頼む時、「Bisa kah? ビサ カ? (出来ますか?)」と聞けば、たいいていは「Bisa ビサ (出来ます)」と



インドネシアの屋台レストラン、ナシゴレンも人気メニュー

いう答えが返ってきますが、その結果は「Tidak Bisa ティダ ビサ (出来ない)」となることもあります。聞かれてすぐに「出来ません」と言うことは、自分のプライドにかかわるのです。ですから「Bisa」と言うのは、あくまで試してみますね、くらいのニュアンスです。

レストランのウェイトレスやウェイターも同様で、「これありますか?」と聞くと「あります」と答えます。オーダー後しばらくすると「すみません、無いです、売り切れです」…。え、お昼前なのに? 無いの? と…(笑)。

ひと言でいえば細かい事は気にしないおおらかな人々なのです。日本のように規律正しい反面、融通が効かずストレスも多い社会とは逆なので、O型の私にしてみれば仕事上の些細なストレスなどは気になりません。人々はいつも優しく接してくれ、冗談も通じるし、リスペクトもしてくれる…、といい事の方が多く、住みやすい国なのです。

今回はインドネシアの交通事情についてご紹介しましょう。

■MSC経営戦略会議 2021年総会の書面決議を実施

1978年(昭和53年)の設立以来、自動車整備業界の先進的経営者による研究会活動を展開しているMSC経営戦略会議では、このたび新型コロナウイルス感染の拡大を鑑み、2021年度総会の各議案の書面による決議を行いました。

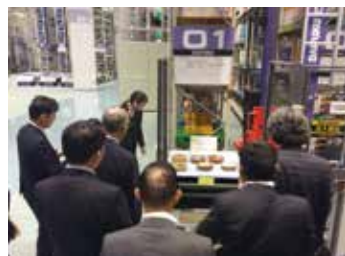
2020年度は総会・研究会ともに開催を見送り、第28回保険拡張販売のみを実施、自賠責増件賞として(株)サイケイ様が受賞しました。

また役員改選については、現役員継続再選を決定し、今年度の研究会活動については夏以降の状況を見たとえでの検討を行うこととなりました。また今後の活動についてはZOOM等を使用しての開催も可能として会員間の調整を図りたいとの意向です。

繁栄するサービス業目指し、活発な研究会活動を展開



第118回研究会、洗車ビジネス活用セミナーを開催



(株)ダイフクにて、最新マテハン機器を見学



第119回研究会、各界講師を招いて自動車サービスの未来像を展望



第121回研究会、アウトメカニカ上海の視察へ



JAXAにて宇宙科学の最先端を見学



仙台にて第122回研究会を開催



世界の最新サービス機器を見学



福島ロボットテストフィールドを見学

BANZAI GUIDE

役員のご紹介

バンザイでは令和3年6月25日に開催いたしました定時株主総会並びに取締役会において、下記の通り役員人事を決定いたしました。今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長		柳田昌宏(重任)
取締役副社長	(営業本部 営業本部長)	浅沼芳政(重任)
取締役	(管理本部 管理本部長) (経理部長兼事務センター長)	金澤文男(重任)
取締役	(営業本部 営業副本部長) (営業部長)	山本正明(重任)
取締役	(管理本部 管理副本部長) (総務部長兼システム部長)	山田卓志(重任)
取締役	(営業本部 営業副本部長) (東京支店長)	小池則之(重任)
取締役	(海外販売部長)	木村亨
常勤監査役		飛田敏行
監査役		川田剛
監査役		岩知道真吾

移転のご案内

・海外販売部・調達部・システム部・東京支店は7月27日より下記に移転いたします。

- 海外販売部 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19 TEL.03-3769-6894 FAX.03-3451-5200
- 調達部 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19 TEL.03-3769-6806 FAX.03-3451-0281
- システム部 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19 TEL.03-3769-6888 FAX.03-3453-9036
- 東京支店 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19 TEL.03-3769-6840 FAX.03-3453-0737

編集後記



新型コロナウイルスの影響で「新しい生活様式」を実践して1年以上が経過しており、既にマスク着用や消毒などが普通の生活になっています。しかしこの生活をしていても感染者数が増えている時もありますので、自分が感染しないようにする為と、相手を

感染させないようにする為にこれからも注意して「新しい生活様式」に取り組みたいと思います。日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりましたので、少しでも早くマスクを外して、しっかりお顔を拝見してお話ができる日がくることを切に願っております。

<福田>